

平成 28 年度 全国学力・学習状況調査結果の概要

京丹波町教育委員会

平成 28 年 4 月 19 日（火）に、小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査における本町の結果の概要についてお知らせします。

【平成 28 年度全国学力・学習状況調査の概要】

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の視点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る。
- 学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日及び調査の対象

平成 28 年 4 月 19 日（火） 小学校第 6 学年児童（5 校：112 名）
中学校第 3 学年生徒（3 校：114 名）

3 調査内容

（1）教科に関する調査

小学校：国語 A（15 問） 国語 B（10 問） 算数 A（16 問） 算数 B（13 問）
中学校：国語 A（33 問） 国語 B（9 問） 数学 A（36 問） 数学 B（15 問）

A：身に付けておかなければ後の学年等の学習に影響を及ぼす内容

実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

B：知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力

様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

（2）児童・生徒質問紙

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

* 調査結果については、教科や出題範囲が限られていることから、全国学力・学習状況調査で測定できるのは学力の特定の一部です。

教科に関する調査結果

《平均正答数からみる全国との比較の基準》

非常に高い…3 問以上	やや低い …— 1 問～— 1.9 問
高い … 2 問～2.9 問	低い …— 2 問～— 2.9 問
やや高い … 1 問～1.9 問	非常に低い…— 3 問以下
ほぼ同様 …±0.9 問	

	国語 A	国語 B	算数・数学 A	算数・数学 B
小学校	ほぼ同様	ほぼ同様	ほぼ同様	ほぼ同様
中学校	ほぼ同様	ほぼ同様	低い	ほぼ同様

【小学校】

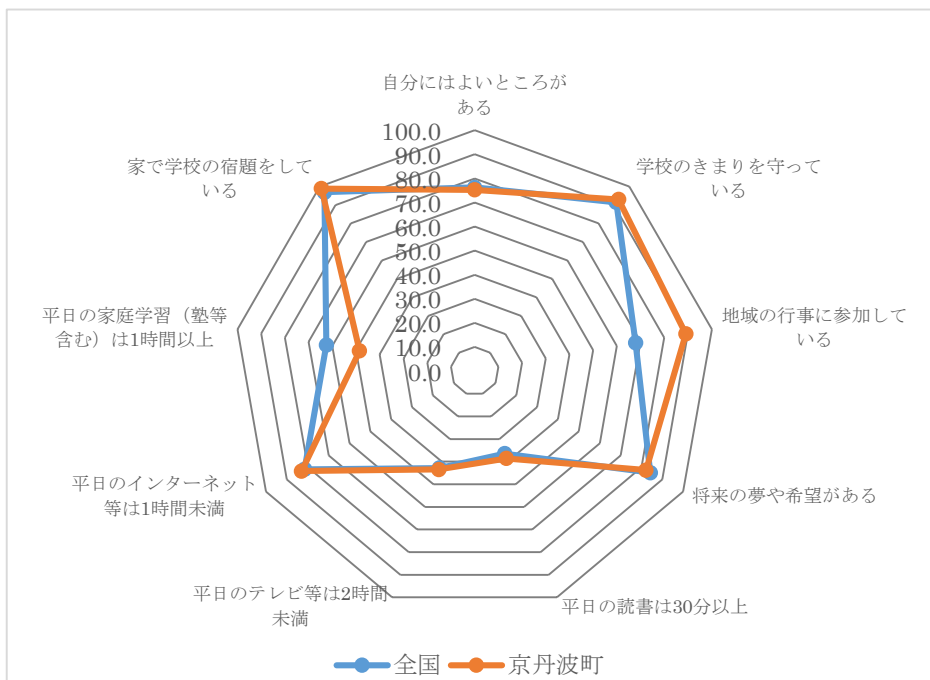
- 国語 A、B、算数 A、B とともに前年度に比べ、全国の平均正答率との比較は上がった。
- 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」については前年度に比べて改善したが、漢字やローマ字を読んだり書いたりするなどの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に課題がある。
- 算数では、前年度まで課題であった「量と測定」の領域や「数量や図形についての技能」の観点で改善の兆しが見られる。

【中学校】

- 国語 A、B、数学 A は前年度とほぼ同様であったが、数学 B については前年度よりも下がった。
- 同一生徒が小学校 6 学年時に受けた調査と比較すると、国語は伸びがみられたが、数学は下がってしまった。
- 数学では、「関数」の領域や、「数学的な見方や考え方」の観点で課題がみられる。

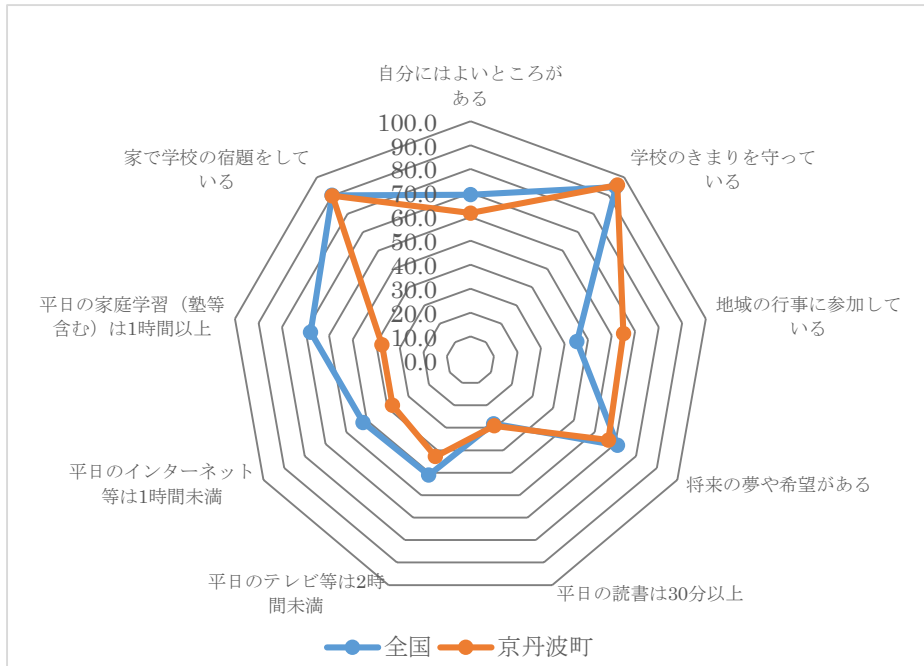
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果

【小学校】



- ほとんどの項目が全国の状況とほぼ同じであるが、「地域の行事に参加している」という項目は、毎年高くなっている。
- 平日の家庭学習の時間については、今年度も課題となっている。

【中学校】



- 「学校のきまりを守っている」「平日の読書は30分以上」「家で学校の宿題をしている」については全国の状態とほぼ同じである。
- 「地域の行事に参加している」という項目は、毎年高くなっている。
- 「自分にはよいところがある」については、やや低くなっている。
- 「テレビ等の視聴時間」「インターネットの使用時間」が長く、「家庭学習の時間」が短い。

改善方針

- 「京丹波町学力向上メソッド」に基づく授業改善を全ての小中学校で実践する。
 - ・ユニバーサルの視点で児童・生徒が学びやすい環境をつくる。
 - ・身に付けたい力を明確にして、めあてからふり返りまで一貫性を持たせた指導を行う。
 - ・児童・生徒が学びの主体者になるように、言語活動を効果的に位置づける。
- 一人一人の学力実態を把握し、個に応じた指導を行う。
 - ・町内全ての小中学校に学習支援員を配置しているが、今後も個に応じた指導を一層推進する。
- 家庭と連携し、家庭での過ごし方の充実を図る。
 - ・家庭学習の時間
 - 学校では、授業とリンクさせた家庭学習を進め、宿題の量や内容の見直しを図る。また、自主的な学習の仕方を指導する。
 - ・テレビの視聴、ゲーム、インターネットの使用時間等
- 読書を通じて、学力の基礎となる「ことばの力」を育む。
 - ・町内全ての小学校、中学校に読書指導員を配置しているが、今後も一層、児童・生徒の読書環境を整えていく。
- 幼稚園、小学校、中学校の連携を密にし、学びの連続を図る。
 - ・各中学校ブロックでの合同研修会を定期的で開催しているが、更に充実した研修会にして連携を進める。